



www.printo.it/pediatric-rheumatology/JP/intro

周期性発熱・アフタ性口内炎・咽頭炎・リンパ節炎症候群 (PFAPA)

版 2016

3.日常生活

3.1病氣のために子どもと家族の日常生活にどのような影響がありますか？

発熱発作を繰り返すことで、生活の質 (QOL) に影響が出る可能性があります。正しい診断がつくまでかなり遅れることがしばしばあり、それにより両親の不安や、時として不必要な医療行為につながる可能性があります。

3.2学校についてはいかがですか？

周期熱によって、学校活動に影響がでる可能性があります。慢性疾患の子どもにとって教育を受け続ける事は大変重要です。学校の出席に問題が生じるような要素が少しありますので、子どもに対してどのような配慮が必要であるかを教師に説明することが重要です。子どもが学業面で遅れないようにするばかりでなく、大人や同級生たちに受け入れられ、認められるために、両親と教師は子どもが学校の活動に普通に参加出来るように可能な事はすべて行う必要があります。将来的に職業人として社会に出る事は若い患者にとって重要な事であり、それこそが国際的な慢性疾患患者支援の目標の一つです。

3.3スポーツはできますか？

どんな子どもにとっても運動をすることは毎日の生活にとっても重要です。治療の目標の一つは、病氣の子どもたちにできるだけ普通の生活を送らせ、自分は友達と何も変わらない、と思わせてあげることです。

3.4食事についてはいかがですか？

特別な食事指導はありません。一般的に、バランスのよい、年齢相当の普通の食事が必要です。成長期の子どもには、健康的でバランスがよく、たんぱく質・カルシウム・ビタミンが十分に入った食事がすすめられます。

3.5天候は病氣の経過に影響しますか？

いいえ、影響しません。

3.6 予防接種を受けることができますか？

はい、この病気の子どもはワクチンを打てますし、接種されるべきです。しかし弱毒化生ワクチンを打つ前には、症例ごとにどのような対応をするか相談するため、主治医に知らせましょう。

3.7 性生活、妊娠、避妊についてはいかがですか？

これまでのところ、こういった点に関しての文献情報はありません。一般的には、他の自己炎症性疾患と同様、抗炎症薬が胎児に及ぼす影響の可能性を考慮し、予め治療法の選択をおこなえる計画的な妊娠を考慮したほうがよいとされています。